

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	子ども体験活動事業						担当部	こども未来部		
	会計区分	一般会計						担当課	こども政策課		
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで						担当係	青少年育成係		
	基本施策・展開方向	3 教育・子育て		13 子育て支援		4 健全な青少年を地域で育てます					
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	3
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習計画									
	目的	何・誰を対象に	市民、小学生、中学生								
		どのような状態にするのか	こども達が体験活動を通じて、こども同士や大人との交流により社会性を育てていく。								
	内容(手段)目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <p>○こども自然体験活動事業</p> <p>・地域の方から参画をいただき、こども自然体験活動事業運営委員会を設置し、企画運営により事業を実施した。</p> <p>自然体験活動(じゃがいもづくり、もち米づくり、魚とり、さつまいも掘り、兒の森里山体験、親子自然観察講座、小牧山中高生サークル春祭りイベント)</p> <p>○学校外活動運営事業</p> <p>・子どもが参加するイベント・プログラムに、ポイントラリー制度を導入し、30ポイント以上の児童生徒にピンバッジを贈呈した。</p> <p>・ジュニアセミナーとして各種体験講座を30講座開催し、こどもの体験機会の充実を図った。</p> <p>※各事業の事務局を市が担い、職員は、市民と協働で事業に参加・運営した。</p> <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース)</p> <p>こども自然体験活動事業委託料(3,269千円)</p> <p>学校外活動運営事業委託料(2,446千円)</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース)</p> <p>こども自然体験活動事業委託(3,940千円)</p> <p>学校外活動運営事業委託料(2,720千円)</p>									
	受益者負担	有 受講料、保険料									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額	
			直接経費	千円	5,856	6,380	5,715
費用	正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
		人件費	千円	2,814	2,814	2,814	2,814
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	1,406	1,850	1,926	1,972
	費用合計	千円	10,076	11,044	10,455	11,446	
	対前年比	%		109.6	94.6	109.4	
財源	一般財源	千円	9,343	10,227	9,519	10,679	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	733	817	936	767	

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	自然体験事業	事業	目標	7	7	7
実績				7	7	7	
	ジュニアセミナー	講座	目標	25	25	30	32
			実績	26	29	30	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	自然体験活動参加者数(約)	人	目標	—	—	—	—
実績			800	1,240	1,288		
	ジュニアセミナー受講者数	人	目標	400	500	550	550
			実績	495	508	542	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	両事業共に、市民、講師との協働により円滑な運営を行うことが出来、目標を達成している。 自然体験活動も含めて、参加受講することも達は、体験することや学んだことが、目に見える形となって成果が得られることに、好評をいただいているところである。					
		事業実施における課題	ジュニアセミナーは定員制であるため、希望の講座を全ての児童が受講できるわけではない。人気集中し、抽選となる講座がある一方で、応募者が基準にみえず、定員割れのまま実施している講座もある。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	堀の内体育館解体により、キッズダンス講座は会場を移し、和太鼓講座は廃止した。新たに味岡市民センターの利用を加え、料理など3講座を開催することとした。					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象		事務事業評価による額	116	千円	予算区分	13	節	節
判定理由・削減内容		29年度ジュニアセミナーは32講座開催しているが、定員割れして開催している講座があるため、講座内容や開催回数の見直しを行う。 29年度予算額(13節委託料6,660千円)から全体的に116千円の削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	ジュニアセミナーは協働提案事業化制度に公募を行うなど、市民との協働実施を検討していく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。